

稲荷神社

この地区の守り神といわれています。書写山のふもとと東坂本の村をほぼ見わたせる場所にあります。ムクヤツバキの木の下に小さなほこらがあります。昭和になってからは、7月15日に八王子神社の湯立祭が終わった後に、稲荷神社の祭りが行われています。

行った日



大森稲荷神社

倉稲魂大神がまつられていて、「田井の大森さん」とよばれ親しまれています。寛延の大水害の前まで、神社の周りに田井の村があり、それが古屋敷という土地の名前の始まりだと考えられます。境内のムクノキとエノキの木は、市の保存樹に指定されています。

行った日



御車寄跡

花山法皇や後醍醐天皇が書写山を訪れた時の、乗りものをとめた屋敷の跡です。『播州書屋山一見記』には「四辻壘 車屋敷ト号ス」と書かれていて、四方を水垣で囲んだ土台がありました。昭和10年(1935)、東坂青年会が計画して駐轡碑を建てました。

行った日



坂本城跡

平地に築かれたお城で、堀之城や御構御所ともよばれています。お城の大きさは堀を含めて180m四方であったと考えられます。応永29年(1422)、赤松満祐が播磨地域を支配する中心地としてお城を建てました。

行った日



書写山円教寺

康保3年(966)、性空上人が開いた天台宗のお寺で、栄えていた時は山の上に170ぐらいの院や住まいがあり、天台宗三大道場の一つでした。天皇や貴族も訪れ、西国第二十七番の観音霊場でもあります。重要文化財がたくさんあり、境内は史跡に指定されています。

行った日



調べたこと、
わかったことを
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

20 曾左地区

曾左地区には「西の比叡山」ともよばれる書写山円教寺があります。1000年以上前に建てられたお寺にはどんな歴史があるのか調べてみましょう。



露天満宮

建てられた年代は分かりません。慶長6年(1601)の「池田輝政公御検地明細地図」という絵図には、天満宮が書写山の東のふもとに描かれています。明治4年(1871)4月の記録では、東坂本村の守り神と記されていて、菅原道真がまつられています。

行った日



八王子神社(書写)

書写山の性空上人が廣峯神社の分霊を書写山鉢ヶ坪にお迎えし、王子権現と名づけました。素盞鳴尊と八柱御子神(五男三女神)がまつられています。天正年間(1573~92)に、東坂の神籬(神さまが降りてくる場所)の空間に社殿を建てて神さまたちをおまつりしました。

行った日



日吉神社(書写)

性空上人が比叡山の守り神・山王権現の分霊をお迎えして書写山の守り神としました。長和元年(1112)に、四方を水垣で囲んだ土台がありました。昭和10年(1935)、東坂青年会が計画して駐轡碑を建てました。

行った日



補陀落山如意輪寺

長保4年(1004)、書写山を開いた性空上人が開いた古いお寺で、如意輪観世音菩薩半跏像がまつられています。書写山は女性立ち入り禁止だったので、応永5年(1398)に心空慈傳上人はこのお寺のそばに女人堂をつくり、女性がおまいりする場所としました。

行った日



無量壽山阿彌陀寺

長久2年(1041)に書写山西ノ口に養季が開きました。阿彌陀如来がまつられています。応永5年(1398)に戦で焼けてしまいました。室町幕府の4代目の将軍足利義持が、赤松義則(円心の孫)に命じて小河玄助に建て直させました。

行った日

